

ふえぬ風

発行 〒901-1105
 沖縄県南部農業改良普及センター
 南風原町字山川517
 TEL:(098)-889-3515
 FAX:(098)-835-6010



南部農業改良普及センターでは、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」、「新・沖縄21世紀農林水産業振興計画」等に基づき、各種農業施策および普及事業の推進に取り組んでいます。地下ダムの整備をはじめ農地及び施設等の整備、農業機械の導入など生産基盤が充実し、野菜、熱帯果樹、さとうきび、養豚、鶏、乳用牛、肉用牛、花き、かんしょ等の生産振興が図られてきました。これらを柱に拠点産地の形成やブランド化など、地域特性を活かした多様な農業生産が行われ、地域経済・社会に大きく貢献しているところです。



さらなる農業振興・発展を図るためには、新規就農者等担い手の育成・確保、産地力の強化、農家所得の向上に向けた取り組みが重要となっております。

このため、令和6年度は、引き続き下記の4つの活動方針を柱に、直接農業者に接して、技術・経営支援などを行う「農業改良普及事業」を重点的に展開してまいります。

1. 担い手の育成・確保と経営力の強化

新規就農者や認定農業者の技術・経営改善、農業青年クラブや農業士等組織活動の充実強化、就農女性の経営参画促進などの取り組みを支援します。

2. おきなわブランドの産地育成と生産体制への支援

野菜、花き、果樹、かんしょなどの拠点産地の育成や、さとうきびの単収向上、畜産の生産体制の強化などの取り組みを支援します。

3. 環境に配慮した持続可能な農業生産

エコファーマーの育成、施肥の適正化、農薬の適正使用、食の安全・安心の確保などの取り組みを支援します。

4. 魅力と活力ある農村の振興

地産地消の推進、女性起業者等の支援、地域農産物の活用、地域農業の活性化などの取り組みを支援します。

これら方針の推進にあたっては、生産農家をはじめ、市町村、JAなどの関係機関・団体と「協働」して取り組んでまいりますので、今後とも普及事業へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

(南部農業改良普及センター所長 神村亜矢子)

令和6年度 南部農業改良普及センター組織体制

★は令和6年度
転入職員

【所長】

★神村亜矢子

普及企画班

【班長】 宮城徳道
 【主幹】 嘉数耕哉

地域特産振興班

【班長】★座喜味清美

園芸技術普及班

【班長】★宮城明生

新規就農
 青年農業者
 農業士等
 地域営農
 農業経営
 庶務

嘉数耕哉
 ★金城学
 岡田亜希子(臨)、屋宜美智子(再)
 安藤さやか
 松村美佳
 宮城美沢、★與那嶺佑季(会)

工芸作物
 作物
 畜産
 農産物活用

嘉数若子
 ★稲福真一、久保田菜夏
 ★花俣良太、★長嶺吉紘
 ★三塩志麻、瀬名波千裕

野菜
 果樹
 花き

★根間光里、二神和靖
 ★安次富由乃
 ★秋田愛子、島尻庸平
 ★大城和久
 ★中村悟之、知念央貴

離島駐在 久米島町 平田雅輝
 南大東村 稲福政史
 北大東村 野原正司

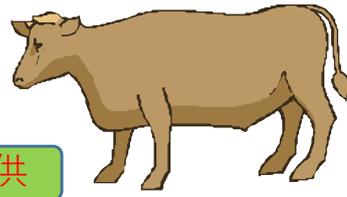
お世話になりました！ ～定期人事異動～

【退職】大城忍、島袋真紀子、本田レオ、吉元あかね

【異動】東江広明(農業大学校)、座波幸司・儀間宏美(北部農林水産振興センター)、眞壁昌弥(農業研究センター)
 春島大河・藤森沙羅(宮古農林水産振興センター)、崎山澄寿(農業研究センター名護支所)
 上江洲貴子(中部農業改良普及センター)

()は転出先

新たに農業を始める方へ ～新規就農者への支援～



→ 就農相談

就農に係る各種情報提供

【内容】就農希望者に対して技術習得や支援制度等に関する各種情報を提供
 【問い合わせ先】(公財)沖縄県農業振興公社、南部農業改良普及センター、各市町村農政担当課、農業関係団体

→ 研修

就農前における技術取得の支援

新規畑人資金支援事業(就農準備資金)

【内容】農業大学校等の研修教育施設における農業研修期間中、最大150万円/年を助成
 【対象者】就農予定時の年齢が原則50歳未満の研修生(最長2年間)
 【問い合わせ先】(公財)沖縄県農業振興公社、南部農業改良普及センター、各研修教育施設



→ 就農開始

就農開始時の経営発展を支援

新規就農者支援事業(経営発展支援事業)

【内容】経営発展のために必要な農業機械・施設導入等の初期投資費用に対する助成
 補助率：3/4(最大750万円) ※下記経営開始資金を併用する場合は最大375万円
 【対象者】市町村に青年等就農計画が認められた49歳以下の者のうち「令和5年度又は令和6年度中に農業経営を開始した者」 ※自己負担分については全額融資が要件
 【問い合わせ先】各市町村農政担当課



→ 就農定着

新規就農者の就農定着を支援

新規畑人資金支援事業(経営開始資金)

【内容】独立自営の新規就農者に対し経営開始資金として最大150万円/年を助成(最長3年間)
 【対象者】市町村に青年等就農計画が認められた49歳以下の者(新規参入者の他、親の経営に従事してから5年以内に経営継承して農業経営を開始する者を含む)
 【問い合わせ先】各市町村農政担当課



新たに農業を始める方には、各々の就農段階に応じた上記支援があります。
 それぞれの事業等については、細かな申請要件や申請書類等があります。
 詳細は問い合わせ先にご確認ください。

(普及企画班 嘉数耕哉)

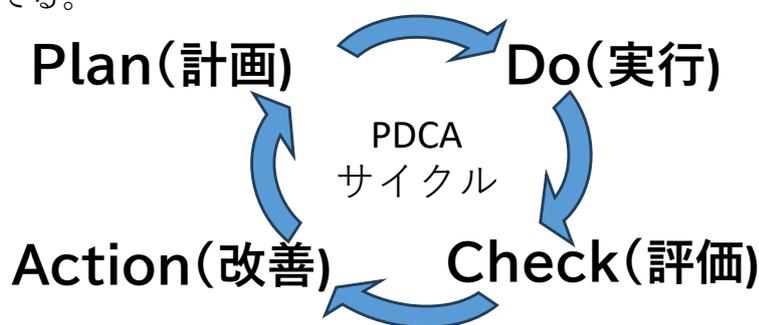
PDCAを実践して農業経営をうまく回そう！

「PDCA」とはPlan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（改善）のサイクルを繰り返して業務を改善していく取り組みで、頭文字をとって「PDCA」と呼ばれます。この当たり前のような取り組みですが、農家のみなさんはできていますか？

所得をアップさせるには、まず売上を増やす必要があります。売上は単価×収量で決まりますが、毎年同じ作物を同じように栽培して同じ取引先に出荷しても、売上が減ることはあります。単価は需要により変動しますが、収量は自分でコントロールができます。そこで重要なのが、

- ①毎年計画を立てましょう！面倒がらずに、まずは作付計画と目標収量、目標売上の設定から始めてみましょう。
- ②作付計画の中に実際に行った作業（植付日、収穫開始・終了日等）を記入しておきます。
- ③収穫期間が終わったら計画と比較して、なぜ植付時期が遅れたのかや目標収量に届かなかったか等の思いつく計画通りできなかった原因を挙げていきます（家族や雇用の皆さんも一緒に意見を出し合うといいですよ）。
- ④上記の原因を無くすには次作は事前に何をしたらよいか対策意見を皆で出し合う。
- ⑤上記の対策を織り込み次作のリベンジ計画を立てる。
- ⑥以下繰り返し

最初は簡単な計画作成からはじめてみましょう。毎年PDCAを実践して続けることが農業経営をうまく回して経営が安定する鍵となります。今回は耕種を紹介しましたが、畜産経営も同様です。今作からPDCAに取り組んでみませんか。



ご存じですか？リスクに備えた収入保険制度

収入保険は、全ての農作物を対象に、自然災害による収量減少や市場価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償します。たとえば、

- ・鳥獣害や病害虫の大発生で収量、品質が下がった
- ・病気やけがで収穫ができなかった
- ・収穫前に農産物が盗難にあった
- ・取引先が倒産した など

栽培管理等による防災対策と一緒に、いざという時の収入確保もご検討ください。

1. 対象者

青色申告を行っている農業者（個人・法人）で、加入申請時に申告実績が1年分ある方
ただし、収入保険と農業共済、野菜価格安定制度などの収入減少を補てんする類似制度は、重複加入ができないため、いずれかを選択して加入することになります。

2. 対象収入

農家が自ら生産した農産物の販売収入全体

3. 保険期間と加入申込

個人は1月1日～12月31日までの1年間で、11月末までに加入申請が必要です。

法人は事業年度の1年間で、事業年度の始まる月の前々月末までに加入申請が必要です。

農林水産省共通申請サービスを利用してインターネット申請すると付加保険料の割引もあります。保険料や補償内容の詳細は下記までお問い合わせください。

NOSAI沖縄（沖縄県農業共済組合）中南部支所

TEL：098-945-3293

（普及企画班 松村美佳）

～トルコギキョウの定植前に「土壌消毒」を行きましょう～

昨シーズンのトルコギキョウ栽培では、フザリウム属菌による立枯病が多く、圃場で散見されました。フザリウム属菌は、土の中に存在する菌の一種でトルコギキョウの根や茎を犯して立枯病を引き起こし、薬剤を散布してもなかなか抑えられない厄介な病原菌です。太陽熱消毒や土壌還元消毒、薬剤による土壌消毒はフザリウム属菌に対して効果があることが分かっています。定植前に立枯病の対策として土壌消毒を行きましょう。

- 太陽熱消毒**
- ①耕耘・碎土し、堆肥（1t/10a）、米ぬか（300kg程度/10a）を投入する。
 - ②圃場全体にたっぷり灌水する（30～50t/10a）。
 - ③透明ビニールで被覆後、端を水枕等を使って押さえ密閉する。



土は細かく砕く



水はたっぷり！
水があれば熱は深くまで到達する



側窓は閉めて天窗は開ける

ビニールを端まで被せて密閉

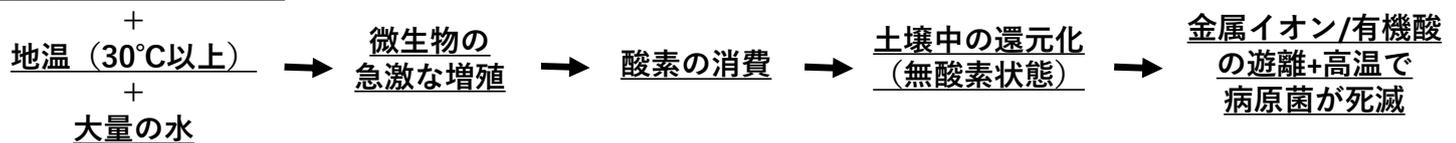
Point

- ・日射量の多い7月～8月の高温期に30日以上！ビニール端をちゃんと押さえ密閉！
- ・米ぬかの肥料分を基肥量から引いて施肥してください。

土壌還元消毒

圃場に大量の水（50～100t/10a）、有機物（エタノールや糖蜜等）を投入、ビニールで被覆することにより、土壌中の微生物の活動で還元化を促進させ、薬剤を使わずに病害虫を死滅させる方法。

有機物（微生物の餌）



土壌還元消毒の注意点！！

- ・密閉しないと効果がない！
- ・土質や碎土の具合、圃場の排水性によっては効果が薄い場合もある。

薬剤を用いた土壌消毒

薬剤には様々な種類があり、効果や適用もそれぞれ異なるため、目的に応じた薬剤を選択する必要があります。

ラベルをよく読み、適用に従って使用してください。

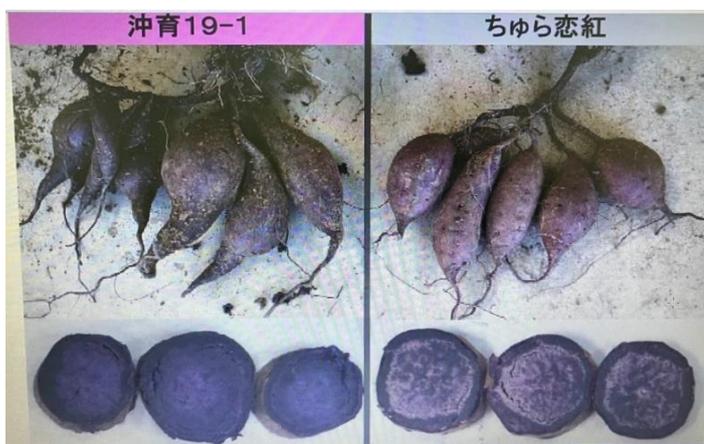
かんしょ新品種情報

沖縄県農業研究センターより、基腐病に強く紫肉色が濃い加工向け新品種候補「沖育19-1」が育成されました。

サツマイモ基腐病は、株の立ち枯れや塊根の腐敗を引き起こす病害です。国内各地で発生しており、生産への影響が深刻化しています。沖縄県で栽培されている「ちゅら恋紅」は基腐病に弱いため、抵抗性品種が求められてきました。

沖育19-1の特徴

- ①「ちゅら恋紅」よりも基腐病に対し**抵抗性が高い**
- ②収量は春植え、秋植えのどちらでも「ちゅら恋紅」と同程度で**多収**。
- ③肉色は「ちゅら恋紅」より**濃い紫色**で、**アントシアニン色価も高い**。
- ④肉質は「ちゅら恋紅」と同様の「やや粉～中」で**加工適正が高い**。



※「沖育19-1」の苗の入手先は、県の事業であるかんしょ優良種苗供給体制強化事業に申し込みのあった市町村より、9月以降に受け取れる見込みです。



基腐病菌

【農薬登録情報】 ※農薬を使用する際は、必ずラベルを確認してください。

ゾウムシ類（イリムサー）防除に使用できる農薬
 (※上から商品名・希釈倍数・散布液量・使用時期・使用回数)

定植前

定植後



プリンスホワイト
6 kg/10a
1回

グレイシア乳剤
2000~3000倍
100~300 l / 10 a
収穫7日前
2回以内

ベネビアOD
4000倍
100~300 l / 10 a
収穫7日前まで
3回以内

プレバソンフロアブル5
2000~4000倍
100~300 l / 10 a
収穫前日まで
3回以内

※イモゾウムシには登録なし



第48回 (R5/6年期) 沖縄県さとうきび競作会表彰式 南部地域からは3名受賞しました!



※2列目左から3人目が仲里氏

第48回 (令和5 / 6年期) 沖縄県さとうきび競作会において、南部地区代表の仲里源勇氏 (南風原町) が奨励農家として沖縄県糖業振興協会理事長賞を受賞しました。

南風原生産組合長である仲里氏は、苗づくりにこだわっており、また、雑草対策や病虫害防除等の肥培管理を徹底した結果が実を結びました。仲里氏は前年度の特別優良事例の部の受賞に続き、2年連続の受賞となりました。

その他、多量生産の部 (生産法人の部) で久米島町の農業生産法人有限会社赤平ファーム、特別優良事例の部で糸満市の金城善則氏が受賞しました。

南部地区の表彰結果は以下のとおりです。

【農家の部】

沖縄県糖業振興協会理事長賞	仲里源勇	南風原町	甘蔗糖重量:1,861kg/10a、蔗茎重量:8,931kg/10a 甘蔗糖度:14.8度、品種:Ni21、作型:株出
---------------	------	------	--

【多量生産の部 (生産法人の部)】

(独)農畜産業振興機構理事長賞	農業生産法人有限会社 赤平ファーム	久米島町	生産量:807,000kg 平均甘蔗糖度:14.7度
-----------------	----------------------	------	-------------------------------

【特別優良事例の部】

沖縄県糖業振興協会理事長賞	金城善則	糸満市
---------------	------	-----



赤平ファーム：玉城学氏



金城善則氏

(地域特産振興班 嘉数若子)



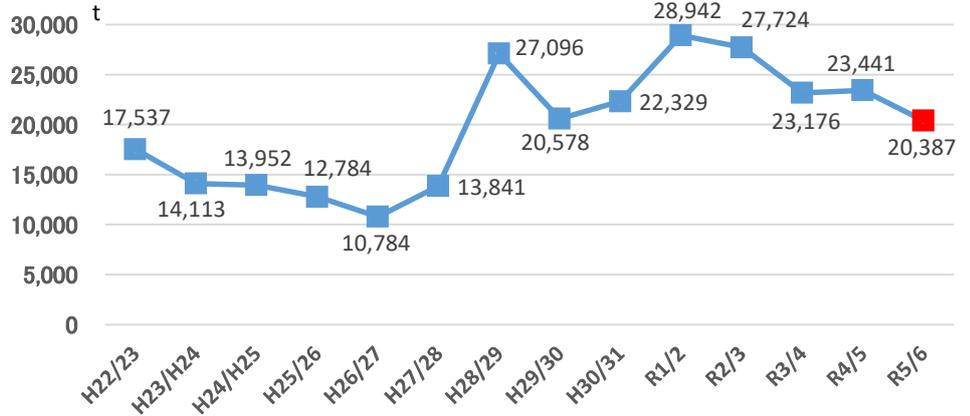
離島情報 (北大東村)

さとうきびの生産状況

令和5/6年期さとうきびの生産量は、20,387tとなりました。令和4/5年期より減産となったものの、令和5年は記録的な干ばつとなった中でも20,000t以上を維持できました。

作型別の単収(t/10a)は、春植え5.5t、夏植え8.5t、株出し4.7tとなりました。

北大東村さとうきび生産量の推移



さとうきびの生産向上に向けた取り組み

北大東村ではこれまで、貯水池の確保、畑かんの整備、土づくりに取り組んできました。その結果、平成28/29年以降増減はあるものの、生産量は20,000t以上を維持し、生産が安定しています。現在、目標25,000tの達成に向けて、下記の栽培管理に努めています。

深耕

・北大東の土は、粘土含量が高いことや大型機械による鎮圧等で土が硬くなりやすいため、サブソイラーやプラソイラーで心土破碎を行っています。



有機物施用と土壌pH調整

・土壌の生物性・化学性の改良を目的として、堆肥の施用を行っています。

・土壌分析を行い、酸度の強いほ場には、島で採れる石灰資材「砕砂」を散布し、酸度矯正を図っています。



マニュアルスプレッタによる堆肥の施用



ライムソワーによる砕砂の施用

かん水

・北大東村では、99%のほ場で畑かんが整備されており、点滴チューブによる灌水を行っています。定期的な灌水によって、気象による影響を受けづらく、さとうきびの安定生産に繋がっています。

右の写真は、昨年7/26に撮影した隣接するほ場です。灌水チューブの有無で生育の差が見られました。



点滴チューブあり
葉が青々と茂っている



点滴チューブなし
葉のロール化、下葉の枯死が見られる

転入者紹介



宮城明生

担当：園芸技術普及班 班長

久しぶりに地元に戻ってきました
できるところから、できること
から、一所懸命がんばります。
楽しく、普及活動していきます。
よろしくお願いいたします。



座喜味清美

担当：地域特産振興班 班長

十数年ぶりの南部普及です。地
域の農業振興のため班員ととも
に取り組んでいきますので、よ
ろしくお願いします。



金城 学

担当：担い手

役職定年で4月から農業青年を
担当します。還暦過ぎてますが、
みなさんとともに頑張りますの
でよろしくお願いいたします。



三塩志麻

担当：農産物加工

南部の農産物加工者・起業者育
成に向けてサポートし、地域を
盛り上げていけるよう頑張らな
い。よろしくお願いいたします。



根間光里

担当：野菜

品目は主にゴーヤー、カボチャ
ナス、ハーブ類です。
精一杯頑張りますので、よろしく
お願いします。



秋田愛子

担当：果樹

主にマンゴーの担当になります。
生産者の皆さんのお役に立てる
よう頑張ります。どうぞよろし
くお願いいたします。



安次富由乃

担当：野菜

主に、さやいんげんとオクラを
担当します。生産者の皆さまの
お役に立てるよう頑張ります。
よろしくお願いいたします。



中村悟之

担当：花き

主にキク類とストレリチアを担
当します。厳しい部分が多い分
野ですが、生産振興に繋がるよ
う活動していきますので、ご協
力のほどよろしくお願いいたします。



花俣良太

担当：畜産（酪農）

鹿児島出身八重瀬在住です。
関係するみなさんと連携し、酪農
振興頑張ります。また、毎日牛乳
飲んで筋トレも頑張ります。
よろしくお願いいたします。



大城和久

担当：果樹

7年ぶりに普及センターに戻って
参りました。
地域の果樹部会或いは若手農家の
育成に果樹チームで励みます。
どうぞよろしくお願いいたします。



稲福真一

担当：作物

昨年の11月から新採用です。
主にかんしょや穀物等を
担当しています。
どうぞよろしくお願いいたします。



長嶺吉紘

担当：畜産（肉用牛）

畜産分野を担当します。南部地
区のさらなる畜産業の発展に向
けて努力していきますのでよろ
しくお願いします。

令和6年度「沖縄県農林漁業賞」受賞者

園芸部門

農山漁村地域活性化部門

新垣 嘉和 様

岸本ファーム

おめでとうございます

岸本 洋子 様

(普及企画班 岡田亜希子)